

三菱電機パッケージエアコン別売部品 フリーコンポマルチ専用同時ツイン分配管取付説明書

SDD-45J形〔室内ユニット異容量ツイン 45：55〕 SDD-35J形〔室内ユニット異容量ツイン 35：65〕
 SDD-30J形〔室内ユニット異容量ツイン 30：70〕

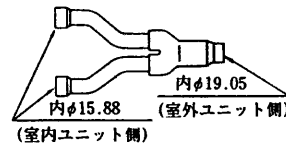
❶ 箱の中には次のものが入っています。作業を始める前にご確認下さい。

①説明書 本紙 1枚	②ガス管 1ヶ	③液管 1ヶ	④パイプカバー ガス管用 1ヶ
⑤パイプカバー 長 短 各1ヶ	⑥2芯ケーブル(12m)	⑦ジョイント 1本	⑧バンド 3本

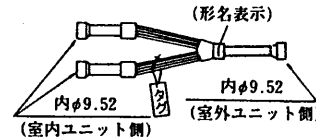
本品以外に次のものを現地にて手配してください。
 ⑨断熱材シール用テープ
 ⑩冷媒配管用延長パイプ

・ガス管②、液管③の仕様は右図のとおりです。

② ガス管



③ 液管



ジョイント仕様と付属個数 <表1>

ジョイント管端サイズ(mm)	SDD-45J	SDD-35J	SDD-30J
⑦ 外φ15.88—内φ12.7	2	1	1
① 外φ15.88—内φ19.05	2	1	1
② 外φ19.05—内φ15.88	1	0	0
⑤ 外φ19.05—内φ25.4	0	1	1
④ 外φ19.05—内φ28.6	1	0	0
② 外φ9.52—内φ6.35	2	1	1
④ 外φ9.52—内φ12.7	2	1	2
⑦ 外φ9.52—内φ15.88	1	1	1

〔ジョイントはkcal/h称呼時の旧配管サイズにも対応できるように多くの種類を付属しています。〕

室内外ユニット組み合わせパターンと使用ジョイント

SDD-45J		SDD-35J		SDD-30J	
室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット
J 90	J40+J50	J40+J80	J50+J90	J40+J90	J50+J112
J100	J45+J56	J80+J140	J71+J160	J71+J160	J71+J160
J112	J50+J63				
J125	J56+J71				
J140	J63+J80				
J160	J71+J90				
J224					
J280	J112+J160				

※ [] 内は取付位置を示す。

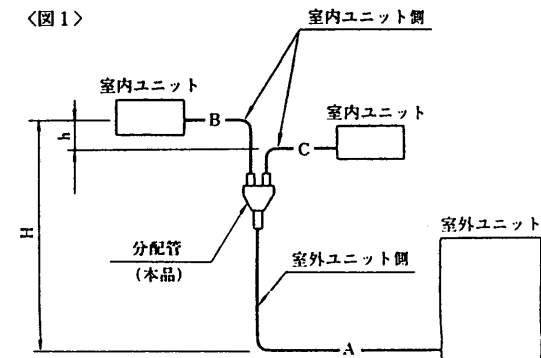
❷ 配管サイズ・冷媒配管の制限

室外ユニット能力	配管サイズ <mm>				配管実長 <m>		高低差 <m>			(注1) バンド数
	ガス側		液側		室内~室外	A+B+C	室内~室内	室内~室外	室内~室内	
	室外ユニット側	室内ユニット側	室外ユニット側	室内ユニット側						
J80・J90	φ15.88 <5/8>	・J40~J50形 φ12.7 <1/2>	φ9.52 <3/8>	・J40~J50形 φ6.35 <1/4>	—	50m以下	B-C = 8m以下	H= 40m以下	h= 1m以下	15以内
J100~J160	φ19.05 <3/4>	・J56~J90形 φ15.88 <5/8>	φ12.7 <1/2>	・J56~J160形 φ9.52 <3/8>	—	65m以下				
J180	φ22.2 <7/8>	・J100~J160形 φ19.05 <3/4>					φ15.88 <5/8>	—	A+B=A+C= 70m以下	
J224	φ25.4 <1>									
J280	φ28.6 <1-1/8>									

注1. 冷媒配管バンド数制限は、<A+B> <A+C> の範囲でそれぞれ8ヶ所以内としてください。
 ※英記号は<図1>と対応しています。

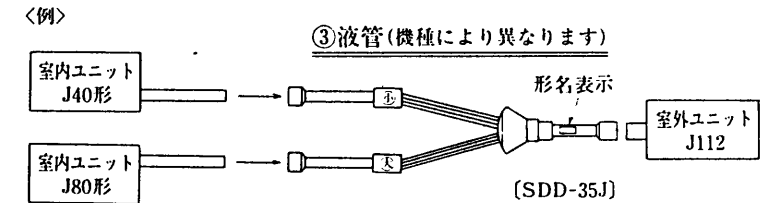
<表3>

<図1>

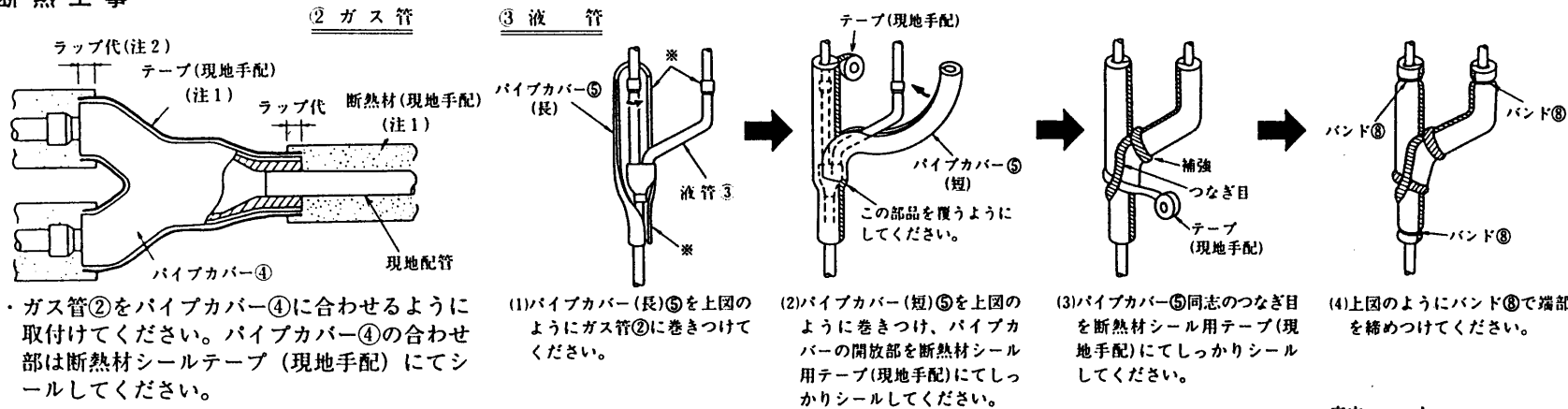


3 配管接続

- 下記のことに注意して作業を行ってください。
 - ・室内外ユニット組合せパターンと仕様ジョイント〈表2〉の再確認を必ず行ってください。
 - ・冷媒配管長制限とそのベンド数制限〈表3〉を必ず守ってください。
 - ・冷媒配管（現地配管）とジョイント⑦は分配管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、なるべく無酸化ロウ付けにて接続してください。
 - ・分配管（本品）の取付時における方向についての制約はありません。
 - ・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。
 - ・液管③のタグは確認後取りはずしてください。
- 配管接続
 - ・使用機種によっては、付属のジョイント⑦が必要となりますので、〈表1〉を参照して選定し、冷媒配管を接続してください。
 - ・分配管（液管）を曲げたり、広げたりしないでください。
 - ・組合せにより、室内ユニットの能力が異なっても配管サイズが同一の場合があります。この場合下記に従って分配が正しくなされるよう接続してください。（液管側）
 - ・室内ユニットの能力の大きい方は、液管③の大の表示側に接続。
 - ・室内ユニットの能力の小さい方は、液管③の小の表示側に接続。



4 断熱工事



・ガス管②をパイプカバー④に合わせて取り付けください。パイプカバー④の合わせ部は断熱材シールテープ（現地手配）にてシールしてください。

(1)パイプカバー(長)⑤を上図のようにガス管②に巻きつけてください。

(2)パイプカバー(短)⑤を上図のように巻きつけ、パイプカバーの開放部を断熱材シールテープ(現地手配)にてしっかりシールしてください。

(3)パイプカバー⑤同志のつなぎ目を断熱材シール用テープ(現地手配)にてしっかりシールしてください。

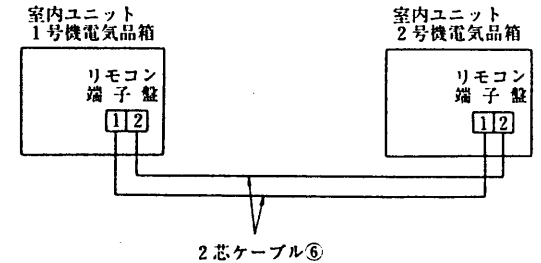
(4)上図のようにバンド⑧で端部を締めつけてください。

注1.
冷媒配管(現地手配)には全て断熱材を施工してください。また市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材(厚さ12mm以上)を使用してください。

注2.
パイプカバー④、⑤は高温にて若干収縮しますので、断熱材はラップ代を設けて施工してください。

5 室内ユニット制御配線

- ・付属の2芯ケーブル(12m)⑥にて室内ユニットの1号機と2号機の制御配線をしてください。
- ・2芯ケーブル⑥は各室内ユニットの電気品箱の中のリモコン端子盤にネジの緩みのないように接続してください。(極性はありません)



本説明以外の内容は、製品本体に付属の据付説明書により据付けしてください。